

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成(やさしく、たくましく)

よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進



早いもので、18日(月)は本校第18回卒業式となりました。

3月1日には6年生を送る会を行い、在校生や先生方から6年生に、熱い思いを届けました。

卒業式には、5年生が在校生代表として参加します。1年生から4年生までは、お休みになりますが、ご家庭でも、お世話になった6年生の門出をお祝いするようにお話してください。

第18回 卒業証書授与式

3月18日(月)は、本校の第18回卒業式です。

55名の子ども達が門司海青小学校を巣立っていきます。

門司海青小学校として開校して以来、926名の卒業生を送り出すことになりました。

6年生の子ども達が、心も体も健やかに成長していくことを願ってやみません。中学校では、一人一人が個性を一層伸ばし、「思いやり」の心をもって、生き生きと学校生活を送ることを願っています。

保護者の皆様には、本当におめでとうございませう。長いようで短かった小学校生活ではなかったでしょうか。この間、学校教育活動はもちろん、PTA活動などご支援、ご協力いただきましたことに、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

お子さまをはじめ、保護者の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



6年生を送る会

3月1日(金)に、6年生を送る会(お別れ集会)を行いました。

「各学年からの出し物」では、歌、演奏、呼びかけ…、どの学年からも6年生を思う気持ちが、ひしひしと伝わってきました。言い換えれば、それだけ6年生が下級生にやさしく、最上級生としての責任を果たしてきたということです。

「スライドショー」では、6年生が入学してから今まで、思い出の写真の中から選んだものをスクリーンに映し出しました。6年生は、小さかった頃を懐かしむように、食い入るように見ていました。



「全校合唱」では、全校みんなまで“あとひとつ”を歌いました。体育館いっぱいに、元気な声が響きわたりました。

最後に、6年生から在校生へ、熱い思いが贈られました。

2時間という時間が、あっという間に過ぎていきました。体育館が、感謝の空気に包まれて

いました。

また、体育館の壁には各学年が作成した壁絵等が飾られていました。この1年間、お世話になった6年生に感謝を込めて作り上げたものです。きっと、在校生の気持ちが6年生に伝わったことでしょう。

おめでとう6年生、そしてありがとう。



一年が経つのは本当に早いものです。平成24年度も残すところわずかとなりました。PTA役員・委員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関・団体の皆様には、この一年間、本校教育に深いご理解と多くのご支援いただき、心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

今年度最後の学校通信発行にあたり、今まで読んでくださった皆様に心からお礼を申し上げます。

子どもが見せる姿は様々です。お年寄りや下級生に親切にしたり、元気にあいさつをしたり、子どもらしく、可愛く、優しい姿を見せてくれました。

しかし一方、学校では色々な問題事象があったり、指導事項があったりします。友達へのいたずらや意地悪、相手を傷つけるような乱暴な行動や言葉遣い、悪いとわかっていてもルールを破ること、また、帰宅後や休日に起こるトラブルなどです。これら全てが『子どもの姿』だと捉えています。しかし、どの子どもも『よりよくなりたい。』という思いをもっているのです。ですから、『よさ』を見取り、伸ばしていくことを基本に、何度も何度も繰り返し、教えるべきは教え、叱るべきは叱り、子どもに自立できる力を身に付けさせることが大切だと考え、全職員一丸となって取り組んできました。子ども達は、その期待に応えようと努力しています。

大人が子どものよさや頑張りを見取っていく気持ちが少なければ、子どもの健やかな成長は望めないと考えています。執筆する私自身、そして、読んでくださる保護者や地域の皆様、お一人お一人が、温かく、やさしい気持ちを持ち、子どもへ、自分へ、周りの人へ、少しでも前向きな気持ちになることを願って執筆しています。今まで、こんな思いをもち続けて学校通信を発行してきました。

また、学校からのお願い(保護者の皆様にご理解いただくこと)がどうしても多くなります。学校や教育に対する考え方が多様化しており、お一人お一人の要望やお考えに全て応えることはできません。学校のスタンスや取組をご理解いただきながら、共通認識をもつことが大切だと考えています。当然、異論のある方もいらっしゃるでしょうが、子ども達の健やかな成長のために、今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。お礼の言葉に替えさせていただきます。

最後に、いつも文章が多くて読みにくい、わかりにくい紙面になっていたことをお詫びいたします。お伝えしたいことや一緒に考えていただきたいことが、山ほどありました。勝手なことばかり書いてしまったと、反省しています。しかし、最後まで読んでいただき、時には励ましていただいたり、賛同していただいたりしたこともありました。保護者の皆様と、子どものことや学校のことで少しでも、共通認識をもつための橋渡しができたかなあと感じています。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

一年間、ありがとうございました。

校長 三栗谷 進 他教職員一同